

あなたの身近でこんなことはありませんか？

虐待の早期発見のためには、虐待に対する認識を深め、サインに気付くことが大切です。以下に、高齢者虐待の早期発見の手がかりとなるサインを例示しました。

身体的虐待のサイン

身体に小さなキズが頻繁に見られる
頭、顔、口腔内、頭皮などにキズがある
急におびえたり、恐ろしがったりする
「怖いから家にいたくない」などの訴えがある
キズやあざの説明のつじつまが合わない

介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）のサイン

居住部屋、住居が極めて非衛生的になっている、また異臭を放っている
寝具や衣類が汚れたままになっている
身体からかなりの異臭がするようになってきている
適度な食事を準備されていない
不自然に空腹を訴える場面が増えてきている

心理的虐待のサイン

かきむしり、噛み付き、ゆすりなどが見られる
身体を萎縮させる
おびえる、わめく、泣く、叫ぶなどの症状が見られる
食欲の変化が激しく、摂食障害（過食、拒食）が見られる
無力感、あきらめ、投げやりな様子になる

性的虐待のサイン

肛門や性器からの出血やキズが見られる
生殖器の痛み、かゆみを訴える
急におびえたり、恐ろしがったりする
ひと目を避けるようになり、多くの時間を一人で過ごすことが増える

経済的虐待のサイン

年金や財産収入などがあることは明白であるにもかかわらず、お金がないと訴える
経済的に困っていないのに、利用負担のあるサービスを利用したがない
お金があるのにサービスの利用料や生活費の支払いができない
資産の保有状況と衣食住等生活状況の落差が激しくなる
預貯金が知らないうちに引き出された、通帳がとられたと訴える

少しでも気になることがあれば、ご連絡ください